

令和6年10月

1学期の「生活についての自己評価」集計結果について

高岡市立福岡中学校

本校では、重点目標達成のために、アクションプランを設定して教育活動に取り組んでいます。1学期末に実施した学校評価や保護者の皆さまからいただいたアンケートの結果を受けて見直しを行い、教育活動の改善に取り組んでまいります。

重点目標 主体的、意欲的に学習に取り組む生徒の育成

～教科書の効果的な活用を中心とした授業改善を通して～

具体的な達成目標	中間目標	最終目標
①教科書を有効に活用して、授業が「分かった」「できた」と感じている生徒	80%以上	85%以上
②ICTを活用することで、意欲的に学習に取り組んでいる生徒	75%以上	80%以上
③「授業や学校行事等の後で自分の活動を振り返ることができた」と感じている生徒	75%以上	80%以上

具体的な達成目標との関連について

具体的な達成目標①について、項目3「授業の中で『分かった』『できた』と感ずることが多い」で「かなりそうだ」「ややそうだ」と答えた生徒が84%でした。教員アンケートでは「教科書の活用を意識し、学習課題の設定や授業展開の仕方を工夫し、生徒の意欲を引き出すようにしている」では「そう思う」「かなりそうだ」が90%であり、「分かる」「できる」授業を目指して授業改善を行っている結果が表れているものと考えます。しかし、家庭学習に関する項目では、その取組が十分にできておらず、せっかく学んだことも定着にはつなげていない傾向があるように考えられます。今後もさらなる授業改善と課題提示の工夫を関連付け、意欲的に取り組めるような工夫に努めてまいります。

具体的な達成目標②について、授業で学習専用端末を使うことで意欲的に学習に取り組むことができると答えた生徒は全体で80%であり、目標値を上回っています。学習専用端末やICTは学習への意欲付けとしての1つの方法であり、今後、使用場面や使用方法について十分に考慮し、有効に活用していきます。

具体的な達成目標③について、「授業や考査、学校行事等の後で、自分の取組を振り返ることができている」では全体の81%の生徒が「そう思う」「ややそう思う」と回答していました。今後も振り返りの場を計画的に設定し、分かったことや身に付けたことを明らかにするとともに、さらなる向上を目指して取り組むことができるようにしていきたいです。

その他の項目について、「楽しく学校生活を送っている」については、91%の生徒が「かなりそうだ」「ややそうだ」と回答しており、保護者アンケートにおいても90%以上の方が「かなりそうだ」「ややそうだ」とお答えいただいています。一方、「自分にはよいところがあると思う」という項目においては76%、「学級や学校のために役立っている」という項目については64%が「かなりそうだ」「ややそうだ」と答えており、その割合の低さが気になります。機会を捉えて、一人一人の頑張りを認め、生徒の自己有用感、自己肯定感を高められるよう努めてまいります。

保護者アンケートの自由記述では、貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後の学校運営の参考とさせていただきます。

9月に、後期生徒会長選挙の立会演説会が行われました。この日は真夏を思わせるとても暑い日でした。体育館に持って行くよう指示された公約プリントは、生徒たちの団扇となり、ほとんどの生徒が椅子を並べて着席したあとにパタパタとあおいでいました。「今日はとても暑いし、仕方がないか」と思っていたところ、演説会が始まり、ふと生徒たちの方へ目をやると、誰もパタパタとあおいでいる人はいませんでした。熱く語る応援弁士、立候補者の話を真剣に聞いている生徒たちの様子は大変すばらしかったです。普段からの指導が徹底されていることと、ステージ上に立つ人への敬意を表す態度、当たり前前ができることに、大人である我々が見習うべきこともあるのかもしれないと感じました。

2学期、3年生から2年生へのバトンタッチで生徒会や部活動は新体制で活動していきます。新たな役職や係に挑戦しようとする生徒もいるでしょう。また、1学期を振り返り、いよいよ学習に力を入れようとする生徒もいることを期待しています。生徒たちの頑張ろうとする姿勢を見逃さず、大きく成長できるよう支援していきたいと思えます。

生活についての自己評価アンケート全学年【1学期】

